

2024年度 関東中学校ゴルフ選手権・個人予選（男子B会場）

開催日：11月19日(火)

開催コース：琵琶池ゴルフクラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「**一般の罰(2 罰打)**」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 18.2)

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。ただし、1 番ホール左側のカート道路と接する枕木の部分、及び4番ホール右側クロスバンカーの右カート道路と接する枕木の部分は、その枕木のコース側の縁をもってアウトオブバウンズの境界線とする。

2. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)

(a) 修理地

(1) 青杭を立て、白線で囲まれた区域。

(b) 動かさない障害物

(1) 排水溝

(2) 小砂利、ウッドチップ、松葉などを使用して舗装した区域。

小砂利やウッドチップなどの個体はルースインペディメントである。

(3) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。

(4) 動かさない障害物と白線につながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。

(5) 15番ホール左奥にある枕木やゴムマットの中に球があったり、スタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合、プレーヤーは次のことができる。

・規則 16.1 に基づき罰なしの救済を受ける。または、

・追加の選択肢として、元の球か別の球をその球に最も近いドロップゾーンにドロップすることによって罰なしの救済を受ける。このドロップゾーンは規則 14.3 に基づく救済エリアである。

3. 不可分な物

以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。

(a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。

(b) ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。

4. クラブと球の規格

(a) ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。

(b) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰：失格

5. ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない：

伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた 1 つあるいは複数の鋳を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。

このローカルルールの違反に対する罰：規則 4.3 参照

6. プレーの中断と再開(規則 5.7)

(a) 即時中断(落雷・Jアラート等、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰：失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

(b) 通常の中断(日没やコースがプレー不能)

規則 5.7b、c、d に従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報するとともに競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

通常の中断 : 競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

プレーの再開 : 連続の3回サイレンを繰り返して通報するとともに競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

このローカルルールの違反に対する罰:

最初の違反の罰 : 一般の罰(プレーヤーの最初のホールに適用される)

2回目の違反の罰 : 失格

8. 移動

ラウンド中、プレーヤーは乗用カートの乗車を可とする。有効に利用して速やかなプレーの進行を心がける事。

9. キャディー

各組に1名キャディー(スコアラー)が帯同するが、カートの運転と旗竿の抜き差し等、プレー進行の補助以外の業務は行わない。尚、キャディーバッグは乗用カートに乗せて運搬する。

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

3. タイの決定

関東大会の出場資格者にタイが生じた場合は、マッチングスコアカード方式(以下の順番)により順位を決定する。

①10番～18番のスコア、②13番～18番のスコア、③16番～18番のスコア、④18番のスコア、⑤4番～9番のスコア、⑥7番～9番のスコア、⑦9番のスコア、それも同じ場合は委員会による抽選とする。

4. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. ローカルルール、競技の条件に追加や変更がある場合は、クラブハウス内に掲示して告示する。

2. 選手はスタート時間の50分前までにはアピアーを済ませ、20分前には必ずスタートホール付近で待機すること。

3. 2024年4月1日に改訂された日本高等学校ゴルフ連盟のユニフォーム規定を遵守すること、各自HPでその内容をよく確認し、帽子及びシャツには学校名を表記すること。スタート前にユニフォームチェックを行う。

4. 「規則書」(JGA2019年度版)は大会中携帯しなくてもよいが、「2023年度のルール改定内容」を事前に確認しておくこと。(連盟HP掲載)

また、本競技規則(ローカルルール)は以前同様、事前に内容を確認し、持参すること。加えて、目土袋・スコップ・グリーンフォークは、競技開始から終了まで必ず携帯し、ディボット跡やピッチマークの修復に努めること。

また、帽子はプレー中常に着帽のこと。スタート時に携帯していない場合は大会に参加させないこともある。

5. コース内での携帯、スマホ等の使用は原則禁止とし、事故・体調不良など緊急時以外は電源を切っておくこと。

ルールの確認(ルールアプリは使用しない)は、事前にルールを学習しておくことが望ましく、不明な点が生じた場合は2つの球をプレーし、同じ組の他のプレーヤーとも状況を確認共有し、ハーフチェック、アテスト時に競技委員長の判断を仰ぐこととする。(プレーヤーズ版ルールブック廃止に伴う経過措置)

6. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に空けないように注意すること。各ホール毎、ティーイングエリアからその組全員の目で球の行方を確認し、紛失球や誤球のないように努めること。スロープレーに関しては、罰を課す。

7. スタート前の練習については主催者の指示に従うこと。

8. 距離計測器は2点間の距離の計測のみ使用することができる(高低差の計測は不可)。

9. 本大会においては「ストロークと距離の処置に代わるローカルルール」及び「各ホールの最大打数のローカルルール」は採用しない。

10. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また、重大な非行があった場合には規則1.2aおよび、20.2に基づいて失格とする場合がある。

11. 球がグリーン上にある場合、グリーンリーディング資料(ヤーデージブック、カートナビ等)の制限に違反した資料をプレーの線を読む支援として使用すると規則4.3の違反となる。

12. 全使用球にフルネームと、通し番号を記入しておき、誤球や不正が行われないように努めること。

13. スコアカードには、毎ホール同じ組の他のプレーヤー全員のスコアも記入して、スコアミスが起きないように留意すること。
14. 頭髪にパーマメント等を施している者、長髪の者、茶色に染めている者等は参加できない。また、ピアス、プレスレット等の不要な装飾品等は身につけないこと。(磁器ネックレス等の健康器具を含む)
守れない場合は、大会参加を認めないこともある。

競技委員長

距離表 琵琶池ゴルフクラブ(中学男子)

使用ティーマーカーは、白色とする
使用グリーン:ベントグリーン

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	518	401	382	345	159	523	328	164	359	3179
Par	5	4	4	4	3	5	4	3	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
363	500	145	387	361	404	171	548	390	3269	6448
4	5	3	4	4	4	3	5	4	36	72